

分野：2

自然生態系と外来生物について

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 小谷場中環境科学部員（20人）

所要時間  2 時間

場所 川口市立小谷場中学校

実施時期 令和3年8月5日

概要

自然とは何か 自然のもの、自然でないもの
食物連鎖から生態系のバランスを考える。
外来植物の影響はなにか
外来植物抜きについて

プログラムの ねらい

- ・小谷場という土地の過去の様子を知ることができる。
- ・身のまわりの生物が野生のものか、品種改良されたものかを理解できる。
- ・植物を出発点として、食物連鎖のピラミッドをつくることができる。
- ・外来植物の侵入により、ピラミッドがくずれることが予想できる。

プログラムの内容

1 自然とは（50分）

- ・小谷場についてのアンケートの回答や昔の地形図から、昔のその土地の様子を考えてみる。
- ・生物のカード（24枚）を用意。全体に見せたあと、5～6枚グループに配り、黒板に自然、自然でないと分けたところに貼りださせた。
- ・答え合わせをしながら、園芸植物、品種改良された生物などを理解させた。
- ・雑木林、植林された林、など6枚の写真を全体に見せて、自然の風景はどれか考えさせた。
- ・自然とは、従来の生物で補われたもの（例えば雑木林）でも良いと思われる。

2 生態系のバランス（50分）

- ・生き物カードを各自つないで、食物ピラミッドをつくる。グループでの話し合い。
- ・紙コップのモデルを用意し、そこに外来植物の侵入の影響を考えさせる。
- ・外来種が侵入により、生態系のバランスがくずれてしまうことが考えられる。

3 外来植物抜きについて（20分）

- ・外来植物抜きについて、特に大事な点を説明する。
- ・水の必要性、服装が大切、ハチに対する姿勢など要点をしぼってスタッフが説明した。

受講者の反応

- ・小谷場についてのアンケートで、レクチャーに対する関心が高くなったようで、生き物カードでの食べる食べられるつながりを、熱心にならべていた。
- ・外来植物の侵入について、生態系のバランスがくずれていくことを、紙コップのモデルで示してくれて、参加者が注目し理解してくれた。

環境学習の様子（写真）



身の周りの自然環境を守っていき
たい人は・・・

イネも自然のものとはいえないで
すね。



植物を食べる昆虫はこれかな。

